

表 シカゴ連銀経済報告(2023年1月18日公表)

項目	動向	関係者報告・背景
雇用と賃金	雇用は緩やかに(moderately)増加 賃金は前回よりも緩やかなペースで上昇	依然として労働者を見つけることが困難だが、労働者の減少が鈍化しているという報告もある。シフト制で長時間労働を可能にしたので、労働者をひきつけた企業もある。賃金と福利厚生のコストは、前回の報告期間よりも緩やかなペースで引き続き増加している。
物価	緩やかに(moderately)上昇	物価は前回の報告期間よりも緩やかなペースで上昇し、関係者は今後12カ月の間にも同様の上昇率を予想している。生産者物価は緩やかに上昇し、エネルギーと原材料のコストが全体的に上昇したとの報告があった。関係者からは輸送コストがほぼ安定したと指摘や、燃料価格の下落が生産コストを引き下げているという指摘があった。消費者物価は、堅調な需要とコスト上昇の転嫁により全般的に上昇したが、消費者の間では物価上昇に対する抵抗感が強まっている。
個人消費	ほとんど変化なし(little changed)	ホリデーシーズン期間中に自動車以外の消費者支出はわずかに増加し、家電製品、食料品、ディスカウントストア、携帯電話プランなどの売り上げが増加したことが報告された。新車販売台数はほとんど変化はなく、中古車販売台数はやや減少した。レジャー・サービスへの支出は全体的にやや増加し、一部の航空会社やクルーズ会社からは昨年を大きく上回る水準であるとの報告があった。
企業支出	ほとんど変化なし(little changed)	設備投資は安定的に推移しており、自動化を目的として設備投資が目立った。商業用および工業用エネルギー需要はわずかに減少し、家庭用エネルギー消費は増加した。小売店在庫は全体的に高水準で推移しているため、小売業者は在庫削減のために発注を減らし、販売促進を強化している。自動車の在庫水準は堅調な増加を続けている。
建設と不動産	緩やかに(moderately)減少	住宅建設は、一戸建て住宅建設の後退に伴い、全体として緩やかに減少した。住宅不動産市場は控えめに下落した。ある関係者は、今後6～12カ月の仕事があるが、高金利が新規プロジェクトの重荷になっており、2023年後半には仕事が枯渇する懸念があると述べた。商業用不動産の動きは緩やかに減少し、取引に必要な資金調達是非常に困難であるとの報告があった。
製造業	控えめに(modestly)減少	鉄鋼生産は、需要の鈍化に伴い11月にわずかに減少した。防衛産業の売り上げが増加したものの、住宅産業や自動車産業からの受注が減少したため、金属加工製品の需要は全体として横ばいとなった。自動車生産はわずかに減少したが、大型トラック需要はわずかに増加した。重機受注は堅調に推移。
金融	やや引き締まった(tightened some)	株式・債券市場の関係者は、資産価値の低下とボラティリティ(値動きの大きさの度合い)の上昇を報告した。事業用ローンの需要は緩やかに減少し、関係者は商業用不動産融資の減少を指摘した。事業用ローンの基準はわずかに厳しくなった。消費者ローンは控えめに減少し、金利上昇に直面して住宅ローン融資が減少している。消費者ローンの質および基準は、変化はなかった。
農業	2023年の農業所得は堅調に推移する見通し	多くの農家が、利益を設備やトラックに投資すると指摘されている。一部の関係者からは、農業ローンの金利上昇を懸念する声もあった。大豆の価格は上昇したが、トウモロコシの価格はほとんど変化がなかった。卵と牛の価格は引き続き上昇し、乳製品と豚の価格は引き続き全体的に下落した。2022年のほとんどの主要農産物価格は、2021年末よりも高水準となった。
地域社会の状況	税収は健全な伸び	失業保険の需要は引き続き低い水準となった。中小企業支援機関は、顧客が投入コスト上昇によって引き続き利益が圧迫され、融資の延滞が増加していると述べた。また、金利の上昇により、中小企業は運転資金の融資を受けることに消極的になっている。慈善団体は、収入の減少する中で、食糧などの必需品を提供するサービスへの需要が高まっており、対応を迫られている。

(出所)シカゴ連銀経済報告を基にジェトロ作成